

御槇小学校だより

校訓
教育目標

みがく まなぶ きたえる
心豊かで たくましく生きる児童の育成



9月号

令和6年9月20日

今年の夏は、記録的な暑さとなり、35度以上の猛暑日が続きました。熱中症警戒アラートもかなりの数の発令があったように感じます。観測史上「最高に暑かった夏」となるかもしれません。また、「線状降水帯」といった聞き慣れない言葉も毎日のように耳にしました。私たちの生活と深い関わりのある自然現象について、いろいろと考えさせられる夏となりました。

始業式で見た子供たちの元気な様子からは、一段とたくましく成長した姿を感じました。残暑はしばらく続くことが予想されますが、2学期は、矢継ぎ早に行事がやってきます。学習と並行して、それぞれの行事を充実したものにすることによって、子供たちは大きく成長していきます。是非、保護者・地域の皆様には、子供たちの身近で応援をしていただければと思います。

「良いアイデアは、体を動かすことから生まれる。」

トーマス・エジソン (1847-1931、アメリカ合衆国の発明家、起業家)

10月の行事予定

日	曜日	行事等	日	曜日	行事等
1	火	繰替休業日	16	水	クラブ活動
2	水	委員会活動 第2回PTA役員会	17	木	ALT来校 防災学習
3	木	体重測定・視力検査	20	日	親子レクリエーション
8	火	宇和島市小学校陸上運動記録会	21	月	チャレンジテスト (~25日)
9	水	陸上運動記録会予備日①	22	木	JTE来校 林業についての学習会
10	木	避難訓練 ALT来校	24	木	老人クラブとの交流会 ALT来校
11	金	陸上運動記録会予備日②	28	月	陸上運動記録会予備日②
14	月	スポーツの日	31	木	いじめSTOP愛顔の子ども会議

9/2 第2学期始業式!

9月2日、43日間の夏休みを終えた子供たちが元気に登校しました。2学期の始業式では、夏休みの楽しかった思い出や、2学期の目標を一人一人が発表しました。子供たちの発表を聞いていると、家族と楽しく過ごす姿や笑顔が思い浮かびました。また、この2学期は行事の多い学期です。高学年の児童は、それぞれの行事にしっかりした目標を持っているように感じました。

- へこたれず学校に行く! (A・K1年生)
- 算数を頑張る! (Y・K)
- 2学期のたくさんの行事を頑張る! (S・T)
- 1年生にやさしくする! (W・H)
- 算数のたし算・ひき算を頑張る! (A・K)
- 早起きと運動を頑張る! (I・K)
- 陸上・運動会の練習をがんばる! (T・W)
- たくさん運動し、陸上大会・運動会をがんばる! (Y・T)
- 低学年のことをしっかり見守る! (O・E)
- 野球をやりたい! (K・K)

2学期の目標!



9/6

認知症サポーター養成講座！



3～6年生は、総合的な学習の時間に「認知症サポーター養成講座」を行いました。宇和島市社会福祉協議会の方々や地域住民の方など総勢8名の方に来校していただきました。「認知症について知ること」「認知症の人の気持ちから、接し方を考えること」を目標に活動しました。認知症サポーター養成講座に携わっていただいた皆様、本当にありがとうございました。「安心感」を大切にしたいという気持ちを強くしました。



秋季大運動会に向けて頑張っています！



今年度の秋季大運動会が間近に迫ってきました。来る9月29日(日)午前8時30分開始(雨天延期 10月6日(日))に向けて、子供たちは一生懸命練習に取り組んでいます。今年の運動会のテーマは、5年生谷川百合佳さんが考えてくれた「御槓が一番！ 笑顔あふれる 運動会」です。笑顔と元気な姿、御槓の力を大いにお楽しみください。



宇和島市陸上記録会に向けての練習も頑張っています！



宇和島市の陸上記録会は、10月8日(火)にガイアスタジアムで開催される予定です。練習には3年生以上の児童が参加しています。60m・100m・60mハードル、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げと、各競技を全員で練習していきます。その後、適性を見極め、選手選考、出場種目の個別練習も行います。



日野のつぶやき！

武者小路実篤さんの詩に、「生長」という題名の詩があります。

どうしてもとどかなかった枝に
ふと手をあげて見た
楽にとどくようになった

たったこれだけの詩です。木の上の方にあるひとつの枝のことが、前から気になって仕方なかったのでしょう。しかし、それは、とても高いところにある枝です。「どうせ自分にはとどきはしない」と、早々とあきらめてしまっていたところだったのでしょう。でも、やってみるものですね。もう一度、ジャンプしてみたのです。そうしたら、今度は楽に手がとどいたのです。「どうせ無理だから」と思って、最初から何もしなかったら、どうだったでしょうか。せっかくとどく距離になっていたのに、そのことさえも、分からないままになってしまっていたことでしょうか。もったいない話ではありませんか。

さあ、陸上練習です。「どうせ無理だから」と思わないこと。「やればできる」と思って取り組むことが大切です！「やればできる」と思わせるのが指導者の役目だと感じます。